

時間割番号: 3101020001

歴史からの問い

担当教員

嘉藤 慎作[Shinsaku Kato]

開講学部等	教養教育	対象年次		単位数	2
開講時期	秋学期	開講曜時	月5	クラス	(HU)[彦根]
ナンバリング	GEAB03001				
授業形態					

授業の目的と概要

本講義ではムスリム諸勢力が南アジア進出を開始した8世紀からイギリスによる本格的な植民地支配が始まる18世紀末までの南アジアの歴史について扱います。特にインドに成立したムスリム王朝に注目し、その歴史的展開を見ていきます。

現代の南アジアには、インドを中心として10億人を超えるヒンドゥー教徒が暮らしている一方で、およそ5億人とも言われるムスリムも居住しています。近年南アジア地域は目覚ましい経済的な発展を遂げており、国際社会の中でも日々その存在感を増しています。そうした中で南アジア地域に関わるニュースを目にする機会も多くなりましたが、そこではインド・パキスタン関係の緊張やインド国内でますます深まるヒンドゥー教徒とムスリムとの間の対立関係などが頻繁に取り沙汰されています。今後も世界の中で重要性を増していくであろう南アジア地域情勢を理解することは大いに意義があることだと考えられますが、そのためにもイスラームの南アジアへの広まりおよびその在地社会に与えた影響を歴史的に学ぶことは不可欠になってきていると言えるでしょう。

このような関心に基づいて、本講義では、主として南アジアにおけるムスリム諸勢力の進出やイスラームの拡大の歴史的展開を追い、それが現代南アジア社会を形成する上でどのような影響をもたらしているのかを考察します。その狙いは、南アジア地域世界の形成においてイスラームやペルシア語といった外部からもたらされた要素が大きく影響したことを理解して、現代南アジアの多様性の淵源についての理解を深めることにあります。

授業の到達目標

- ・南アジアにおけるイスラームの展開およびイスラームが社会に与えた影響について理解し、説明できるようになる。
- ・南アジアの特徴の1つである社会・文化的多様性について理解を深める。

以上はディプロマ・ポリシーにおける「(1) 社会人としての幅広い知識と汎用的能力」のうち、「社会に関わる多様な学問に接し、広い知識と基礎的な考え方を習得している」、「多様な人と協働するためのコミュニケーション能力と規範を備えている」、「国際社会に貢献するためのグローバルな見識と異文化間コミュニケーション能力を習得している」に該当します。

授業計画

No	内容
第1回	イントロダクション / 南アジアにおけるイスラーム
第2回	ムスリム諸勢力の南アジア進出
第3回	デリー・スルターン朝の時代
第4回	デリー・スルターン朝時代の社会と経済
第5回	デカンにおけるムスリム諸王国の展開
第6回	ムガル朝の成立: パーブルとフマーユーン
第7回	ムガル朝の発展: アクバル
第8回	ムガル朝の拡大: ジャハーンギールとシャージャハーン
第9回	ムガル朝の繁栄とその曲がり角: アウラングゼーブ
第10回	ムガル朝時代の経済
第11回	ムガル朝時代の社会と文化
第12回	ムガル朝の衰退とマラーター同盟の興隆
第13回	イギリスによる植民地支配のはじまり

第14回	大反乱とムガル朝の終焉
第15回	まとめ

■ 事前学習・事後学習など授業時間外の学習

- ・毎回、配布される講義資料に事前に目を通し、当該回の内容の流れを確認する(0.5時間)。
- ・毎回、講義後に講義内容の復習をする(0.5時間)。
- ・講義内で紹介された関連する文献のなかで関心のあるものに目を通す(3時間)。

■ 成績評価の方法

成績は講義の各回で提示する課題(30%)と期末試験(70%)で評価します。

■ 成績評価の基準

- ・秀: 講義の内容を十分に理解し、南アジアにおけるイスラーム諸勢力の歴史的展開について良く説明ができる。
- ・優: 講義の内容を理解し、南アジアにおけるイスラーム諸勢力の歴史的展開について説明ができる。
- ・良: 講義の内容を理解し、南アジアにおけるイスラーム諸勢力の歴史的展開について不十分ではあるが説明ができる。
- ・可: 講義の内容を理解している。

■ 教科書

■ 参考書

参考書1	ISBN	9780141985398				
	書名	India in the Persianate Age : 1000-1765				
	著者名	Eaton, Richard Maxwell, Richard M. Eaton	出版社	Penguin	出版年	2020, c2019
参考書2	ISBN	9784634462090				
	書名	南アジア史				
	著者名	小谷, 汪之, 1942-, 小谷汪之 編	出版社	山川出版社	出版年	2007.8
参考書3	ISBN	9784634462113				
	書名	南アジア史				
	著者名	長崎, 暢子, 1937-	出版社	山川出版社	出版年	2019.3

■ 教材に関する補足情報

講義の各回で配布するスライド資料に基づいて進めます。より詳しく知りたいという方は、まず参考書に挙げている書籍を手にとることを勧めます。

■ 参考文献一覧

各回で関連する参考文献を提示します。

■ 履修上の注意事項

■ キーワード(「実務経験のある教員による授業科目」は「実務経験」で検索)

南アジア、インド、歴史、イスラーム、ムガル朝

■ 備考(実務経験の内容と授業との関連を含む)

■ 参照ホームページ

■■ 教員からの一言

歴史を学ぶことで、物事を長期的な視野で捉える力を身につけましょう。

■■ オフィスアワー

事前に連絡・アポイントメントをとるのが望ましいですが、在室中であれば基本的にいつでも対応します。

■■ 連絡先(研究室他)

6階605号室

■■ 連絡先(電話番号)

■■ 連絡先(メールアドレス)

shinsaku-kato@biwako.shiga-u.ac.jp

■■ ホームページ

■■ 備考(教員情報)